

横浜市立洋光台第一小学校



学校だより

令和5年4月28日発行

令和5年度

5月

子どもたちの努力にエールを

校長 千本 恵子

新緑に差し込む光が輝き、鯉のぼりが大空を元気に泳ぐ季節となりました。

鯉のぼりは、江戸中期に庶民のアイデアで生まれたそうです。中国に古くから伝わる登竜門の伝説になぞらえ、「竜門の滝を登り切ると鯉が竜になるように、我が子も健康に育ち、将来は大きく立派になってほしい。」との気持ちを込めたものだそうです。新学年のスタートに、子どもたちは今年度の目標をもち、あきらめずに努力を続けようと、気持ちを新たにしています。その姿が、鯉の滝登りに重なり、私たち教職員は、精一杯子どもたちを応援していきたいという思いになります。



さて、5月27日（土）には運動会を実施します。実施内容はほぼ昨年同様としますが、応援に来てくださる保護者の人数には制限を設けず、来賓の方々にもご覧いただけるようにしたいと考えています。子どもたちは、保護者、来賓、地域の皆様から多くの温かい声援をいただくことで、練習の成果を存分に発揮できることと思います。

5月の朝会では、運動会に向けて子どもたちに次のような話をします。

「低学年は、最後まであきらめず徒競走や演技、応援に一生懸命に取り組みましょう。」

「中学年は、さらに友だちと協力してやり遂げる楽しさを味わいましょう。」

「高学年は、さらに役割の責任を果たし、自分からすすんで行動しましょう。そして、みんなの力で最高の運動会を創りましょう。」

運動会は、当日の結果だけではなく「自分の目標に向かって、どのように取り組んだのか。」その過程がとても大切です。子どもたちは、努力したからこそ得られる達成感や、友だちと心をひとつに協力したからこそ得られる楽しさや充実感から学び、成長していくのです。運動会という大きな行事が、子どもたち一人ひとりの成長につながることを願っています。

4月21日（金）の朝、「運動会プロジェクト」のリーダーが、それぞれの思いを全校放送で伝えました。洋一小の運動会は、すでに始まっています。私たちは、保護者や地域の皆様とともに、子どもたちの日々の努力にエールを送り続けていきたいと思っています。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。